

日本貝類学会令和6年度大会（大阪） プログラム

大会ホームページ：<https://sites.google.com/view/msj2024/>



会期：2024年4月13日（土）～14日（日） 会場：大阪市立自然史博物館 本館

■4月13日（土）

9:00- 受付
9:30 開会あいさつ

セッション1（座長：柏尾 翔）

- 9:45-10:00 A01 チドリミドリガイ type Black の初期生活史・食性・藻類由来タンパク質の維持 三石康生（慶應大・環境情報）・稲垣伸一・前田太郎○（慶應大・政メ）
- 10:00-10:15 A02 異鰓類の分子進化 溝端秀彬○・米澤 遼・富田憲司・林 健太郎・木下滋晴・吉武和敏・浅川修一（東大院・農）
- 10:15-10:30 A03 ミスジマイマイ種群における雑種分化 石井康人○（東北大・理）・千葉 聡（東北大・東北アジア研究センター）・伊藤 舜（伊豆大島ジオパーク推進委員会事務局；東邦大学・理）

セッション2（座長：長谷川和範）

- 10:45-11:00 A04 静岡県三保におけるチドリマスオ *Donacilla picta*（チドリマスオ科）の出現様式 大前晴幹○（三重大・生物資源）・堀池航史・田中克彦（東海大・海洋）
- 11:00-11:15 A05 三重県田中川干潟におけるカワザンショウガイ科3種の個体群動態 伊藤龍之介（三重大院・生物資源）・伊藤 萌（東京大学大気海洋研究所）・金谷 弦（国立環境研究所）・木村昭一（三重大院・生物資源）・木村妙子○（三重大院・生物資源）
- 11:15-11:30 A06 大阪湾において分布を拡大したウミナナ個体群の遺伝特性 上村了美○（大阪公立大学）・大谷壮介（大阪公立大学工業高等専門学校）・上月康則（徳島大学環境防災研究センター）
- 11:30-11:45 A07 ホソウミナ *Batillaria attramentaria* への二生吸虫の感染率と多様性における広域的なパターン 金谷 弦○（国環研）・伊藤 萌（国環研，東大大海研）・中井静子（日大生物資源）・三浦 収（高知大農林海洋科学）

11:45-12:00 ポスター発表ライトニングトーク（奇数番号）
12:00-13:00 昼食
13:00-14:00 ポスター発表コアタイム（奇数番号）

セッション3（座長：佐々木猛智）

- 14:00-14:15 A08 新たな日本海固有腹足類：イソチドリ科の1未記載種について 長谷川和範○（国立科学博物館・動物研究部）・高野剛史（目黒寄生虫館）
- 14:15-14:30 A09 2023年勢水丸研究航海により熊野灘で採集された注目すべき貝類 木村昭一○・木村妙子（三重大院・生物資源）
- 14:30-14:45 A10 日本海溝・千島海溝の貝類相から探る超深海動物の多様性とその創出機構 狩野泰則○1・浅田要1・福森啓晶2・佐藤宏樹1・石山玄樹1・高野剛史3・Franziska Bergmeier4・Bastian Brenzinger5・Manuel Malaquias6・矢萩拓也1・小島茂明1（1 東大 大海研，2 東北大 浅虫，3 目黒寄生虫館，4 LMU Munich，5 Bavarian Nat Hist Coll，6 Univ Bergen）

セッション4（座長：安岡法子）

- 15:00-15:15 A11 吻殻綱の殻形態と日本産新産出記録 佐々木猛智○（東大・総博）・高橋完治（埼玉県入間市）
- 15:15-15:30 A12 ヨーロッパヒラガキの日本への移入と定着状況について 寺本沙也加1○・阿部 陽2・小林俊将1（1 岩手県水産技術センター，2 岩手生物工学研究センター）
- 15:30-15:45 A13 大阪府立環境農林水産総合研究所の大阪湾調査において採取された貝類について 中山大成1○・木村祐貴1・中山 凌2（1 大阪環農水研，2 青森水総研）

15:45-16:00 ポスター発表ライトニングトーク（偶数番号）
16:00-17:00 ポスター発表コアタイム（偶数番号）
17:10-17:45 特別展「自然史のイラストレーション」見学会
18:00-20:00 懇親会（ナウマンホール）

■4月14日（日）

9:15- 受付

セッション5（座長：照屋清之介）

- 10:00-10:15 B01 ミトゲノムデータに基づくエゾバイ上科貝類の分子系統解析 石山玄樹 1○・福森啓晶 2・Sofya S.

Zvonareva3・Alexander Fedosov4・Yuri I. Kantor3・狩野泰則1 (1 東大 大気海洋研究所, 2 東北大 浅虫海洋生物学教育研究センター, 3 Russian Academy of Sciences, 4 Swedish Museum of Natural History)

10:15-10:30 B02 **Phylogenomics 解析における遺伝子選択の影響-キセルガイの系統解析を例として-** 石川 彰人1・スティアマルガ・デフィン2・豊田 敦3・鈴木 穰1・上島 励1〇 (1 東京大学, 2 和歌山高専, 3 国立遺伝研)

10:30-10:45 B03 **テッポウエビ類の巣穴に共生するウロコガイ科二枚貝類の多様性と進化** 後藤龍太郎〇 (京都大・瀬戸臨海)・佐藤大義 (琉球大・理工)・邊見由美 (京都大・舞鶴水産)・高野剛史 (目黒寄生虫館)・杉山高大 (京都大・瀬戸臨海)・伊谷 行 (高知大・教育)

11:00-12:00 **総会**

12:00-13:00 **昼食**

13:00-14:00 **公開講演会「貝に寄生する, 貝が寄生する」** 高野剛史 (目黒寄生虫館)

セッション6 (座長: 西 浩孝)

14:15-14:30 B04 **ベッコウマイマイ類の分子系統地理学的新知見** 市川順也〇・上島 励 (東京大学大学院理学系)

14:30-14:45 B05 **沖縄島北部4諸島における陸産貝類の生息近況** 久保弘文〇 (沖縄県衛生環境研究所)・西山桂一 (沖縄環境保全研究所)・早瀬善正 (東海アクアノーツ)

14:45-15:00 B06 **沖縄戦で米軍兵士が採集した貝類標本** 石田 惣 (大阪市立自然史博)

15:00 **閉会あいさつ**

■ポスターセッション

(奇数番号) ライトニングトーク: 13日 11:45-12:00、コアタイム: 13日 13:00-14:00

(偶数番号) ライトニングトーク: 13日 15:45-16:00、コアタイム: 13日 16:00-17:00

P01 **日本産ミジンギリギリツツ科貝類の分子系統解析と間隙環境への適応** 穴井陸大〇・狩野泰則 (東大・大気海洋研)

P02 **貝殻結晶の進化パターンにおける系統網羅的解析** 吉村太郎〇・佐々木猛智 (東京大学)

P03 **カノコキセワタ科腹足類 (異鰓亜綱: 頭楯目) の分子系統解析と深海への進出史** 佐藤 宏樹 1〇・Manuel Malaquias2・狩野泰則1 (1 東大 大海研, 2 University of Bergen)

P04 **奄美群島に生息するムシオイガイ類の系統関係** 松田春菜〇 (四国大)・矢野重文 (四国貝類談話会)・山城 考 (徳島大・院・社会産業理工学)

P05 **アカエラミノウミウシ *Sakuraeolis enosimensis* (Baba,1930) の飼育・初期発生および形態学的観察** 金子 佑真〇 (京大・院・理)・中野智之 (京大・瀬戸臨海)

P06 **長崎県・佐世保湾の潮下帯堆積物底に生息する *Solen* 属二枚貝 2 種の摂餌器官の形態比較** 竹内清治 (長大院・水環)

P07 **滋賀県東部洞窟内の陸産貝類相, 特にノブエガイ属貝類の新記録** 岩田明久〇 (名古屋貝類談話会)・早瀬善正 (東海アクアノーツ)

P08 **コケハダシワクチマイマイ殻毛の被食防衛機能** 佐藤 臨〇 (都立大)・吉川明宏 (奄美市)

P09 **大阪湾で水揚げされた養殖マガキの成分分析** 安岡法子〇・辻村浩隆・高井雄一郎・和泉慶子・神野有子 (大阪環農水研)

P10 **洞窟外における海底洞窟性貝類の記録** 照屋清之介〇 (千葉中央博)・寺本沙也加 (岩手水技セ)

P11 **「大阪湾ウミウシ観察会」による大阪湾南東部ウミウシ類観察記録(2015-2022)** 北詰美加〇 (大阪自然環境保全協会)・田中広樹 (大阪自然環境保全協会)・柏尾 翔 (きしわだ自然資料館)

P12 **北海道日高湾東部および襟裳岬沖の底生軟体動物相** 栗原康裕〇・高橋昂大・安宅淳樹・坂上 嶺 (道総研・栽培水産試験場)

P13 **平瀬介館の陸産貝類標本台帳の部分的復元** 川上誠太 (神戸市)

P14 **千島および日本海溝の深海・超深海性ナマコ類から得られたハナゴウナ科腹足類** 高野剛史1〇・小川晟人2,3・長谷川万純3・伊藤 萌4 (1 目黒寄生虫館, 2 国立科学博物館, 3 海洋研究開発機構, 4 東大・大気海洋研究所)

講演要旨集 PDF

・講演要旨集 PDF は4月第1週に学会ホームページの会員専用ページに掲載するほか、学会会員メーリングリストに登録されている方はメーリングリストから添付で送信します。

・今大会では、**講演要旨集の冊子体 (製本版) は作成しません**。必要な方は各自でプリントアウトをしてください。ご希望の方には、大会会場限定でホチキス止めの簡易製本版を有料で販売します (500円程度、部数に限りあり)。ご自宅でのプリントアウトが難しい方にはコンビニのネットワークプリント (有料) をご案内しますので、大会事務局までお問い合わせください。

Slack の開設

・リモート参加者を含めた質疑応答の場として、Slack のワークスペース「貝類学会令和6年度大阪大会」を開設します。

Slack はビジネス向けに開発されたチャットシステムで、メールアドレスがあればサインインできます。ポスター・口頭発表ともに積極的にご活用ください。特に発表者の方はサインインをお願いします。

- ・大会のワークスペースに参加するための招待リンクは、講演要旨集 PDF に掲載します。
- ・このワークスペースに参加できる方は、大会参加者及び学会会員に限定します（参加時の氏名で確認します）。
- ・このワークスペースは、4 月末で閉鎖します。

ポスター発表のリモート閲覧について

- ・ポスター発表を閲覧できるサイトへのリンクは、講演要旨集 PDF に掲載します。要旨集の公開日からサイトにはアクセスできますが、発表者が発表データをアップロードするタイミングは発表者により異なります（4 月 12 日にはすべての発表が閲覧可能となる予定です）。
- ・閲覧サイトの公開は **4 月 21 日（日）23:59 までです（大会終了日から 1 週間後）**。
- ・ポスター発表の閲覧サイトは Dropbox を使用しますが、画面に表示されているコメント機能は使えません。また、発表データのダウンロードはできません。

口頭発表のリモート聴講（Zoom）について

- ・Zoom ミーティングのアドレス等の情報は、講演要旨集 PDF に掲載します。
- ・口頭発表ではリモート参加者からも質問を受け付けるようにしますが、対面会場での質問を優先します。質問は必要に応じて Slack のワークスペースもご活用ください。回線状況によっては良好な映像や音声配信されなかったり、途切れたりするケースがあり得ます。あらかじめご了承ください。

発表聴講時のお願い

- ・口頭発表及びポスター発表の録画、撮影、画面のキャプチャは対面会場、リモート聴講ともに禁止します。ただし、大会事務局が大会の記録用に撮影や画面のキャプチャを行うことがあります。
- ・その他、聴講時の注意事項は講演要旨集 PDF をご覧ください。

総会

- ・総会は Zoom で中継をする予定です。リモート参加者の質問や議決権は現在評議員会で調整中です。詳細は講演要旨集 PDF に掲載します。

ポスター発表・口頭発表の発表者へのご案内

- ・ポスター発表データのアップロードや口頭発表のプレゼン作成の注意事項などについては、発表を申し込まれた方に個別にご連絡します。

公開講演会

- ・4 月 14 日（日）午後 1 時より公開講演会を開催します。大会参加者の方は参加申込み不要です。こちらも奮ってご参加ください。公開講演会は YouTube ライブで同時配信します（Zoom ではありません）。アクセス方法は講演要旨集 PDF をご覧ください。

「貝に寄生する、貝が寄生する」

日時：4 月 14 日（日）午後 1 時～2 時 講師：高野剛史 氏（目黒寄生虫館 研究員）

要旨：寄生虫と聞くと食中毒や感染症といったマイナスイメージが、貝といえば美味しい食材、美しい模様といったプラスのイメージが浮かびがちではないでしょうか。実は、「寄生」と「貝」には切っても切れない関係があります。多くの寄生虫が成長過程で宿主として貝を利用する一方で、貝そのものが他の動物に寄生するケースも知られています。本講演では、ヒトとの関係にも触れながら、貝に関わる寄生現象について紹介します。

貝類学会若手の会 in 大阪

- ・日本貝類学会若手の会は、軟体動物に関心がある学生や若手研究者の交流、および貝類学の普及・活性化を目的に、有志によって運営・開催されている会合です。今回は、大会前日（4 月 12 日）に大阪の長居公園にて貝類の観察会、その後に同公園内にある大阪市立自然史博物館にて懇親会を実施する予定です。参加申し込みなど詳しくは若手の会のサイトをご覧ください。

<https://sites.google.com/view/msjwakate/>



参加申し込み

- ・引き続き申込みを受け付けています。参加費などの詳細は別紙の参加申込書、または大会ホームページをご覧ください。参加申し込みの Google フォームは 4 月 5 日（金）で閉鎖します。以降は大会当日、会場の受付で参加申し込みと参加費支払いをしてください。
- ・事前入金がお済みでない方は、受付で参加費等をお支払いください。早期入金割引期限（3 月 25 日まで）より後のお支払いは、理由のいかんに関わらず参加費・懇親会費ともに通常額となりますのでご注意ください。
- ・参加費等の領収証は受付時にお渡しします。
- ・リモート聴講は申込み不要、参加費も不要です。参加費を振り込まないようご注意ください。

参加キャンセルに伴う参加費等の返金の取扱い

・参加費、懇親会費、弁当代を事前入金されたあとで大会への参加をキャンセルされる場合、4月12日（金）までのキャンセルは、**合計額から振込手数料を差し引いて銀行振込により返金いたします。**返金処理は大会終了後になります。キャンセルのお申し出の際振込先の＜銀行名・支店名・口座種別・口座番号・口座名義＞をお知らせください。4月13日（土）以降のキャンセルは返金いたしません。

懇親会

会場：大阪市立自然史博物館 ナウマンホール（本館1階） 日時：4月13日（土）18:00～20:00

- ・引き続き参加申込みを受け付けています。どうぞ奮ってご参加ください。
- ・各地名産品の差し入れを歓迎します。当日受付でお預け下さい。
- ・プラスチックの使用量削減のため、可能な方はマイカップをお持ちください。

昼食

・会場内にレストランはありません。近隣にコンビニ・スーパーはありますが、徒歩で片道5～10分程度かかります。

その他

- ・会場内、及び博物館内（屋外の敷地内と隣接する植物園内を含む）はすべて禁煙です。
- ・当日、会場内でWi-Fiの提供予定はありません。

会場へのアクセス

・大会参加者の方は、博物館本館の「**通用口**」からお入りください。通用口は長居公園公園内のマラソンコースに面しています（地図参照）。本館の開館時間（午前9時30分から午後5時）以外の時間帯は、通用口からしか会場に入ることはできません。4月13日（土）の受付開始は午前9時、14日（日）は午前9時15分です。

会場：大阪市立自然史博物館 本館

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 tel: 06-6697-6221

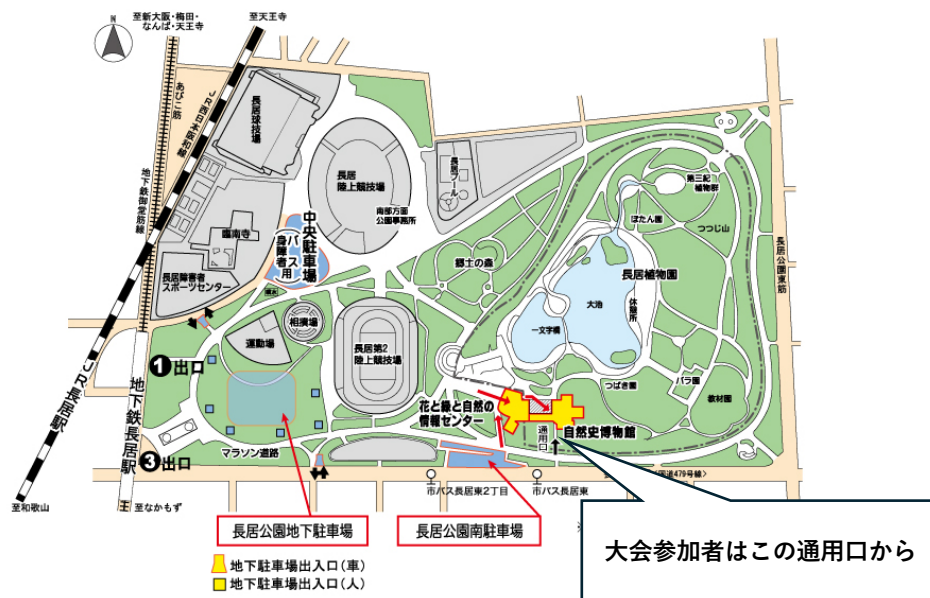
アクセス：https://omnh.jp/guide_top/guide

最寄り駅：

- 地下鉄 Osaka Metro 御堂筋線「長居」駅
南改札口3号出口から東へ約800m、徒歩10分
- JR 阪和線「長居」駅
東出口から東へ約1km、徒歩15分
- ※新大阪～長居（地下鉄）：30分、梅田～長居（地下鉄）：23分

駐車場：

長居公園には長居公園南駐車場（博物館最寄り）、地下駐車場、スタジアム前中央駐車場があります（いずれも有料）。料金や空車情報は <https://nagaiipark.com/access/> をご参照ください。



大会に関するお問い合わせ

大阪市立自然史博物館 石田 惣

TEL: 06-6697-6221 / FAX: 06-6697-6225 / メール：msj2024@icloud.com（大会専用）

日本貝類学会の会員事務に関するお問い合わせ：<http://www.malaco-soc-japan.org/page.php?id=119>

